2　結果の詳細

⑴ 教科に関する調査

①小学校国語

ア　平均正答率

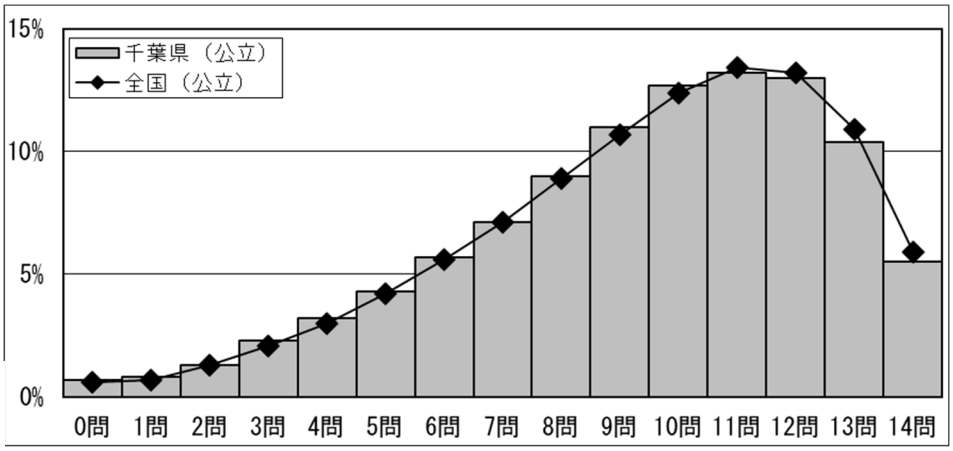
▼：全国の平均正答率を下回るもの

対象学校数	千葉県（公立）	全国（公立）	対象児童数	千葉県（公立）	全国（公立）
	754	18,466		46,939	947,364

分類		区分	対象問題数（問）	平均正答率(%) 千葉県（公立）	平均正答率(%) 全国（公立）
全体			14	▼67	67.7
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	4	▼63.2	64.4
		(2) 情報の扱い方に関する事項	1	▼86.8	86.9
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	1	76.1	74.6
	思考力、判断力、表現力等	A　話すこと・聞くこと	3	▼58.7	59.8
		B　書くこと	2	▼66.9	68.4
		C　読むこと	3	71.0	70.7
評価の観点		知識・技能	6	▼69.3	69.8
		思考・判断・表現	8	▼65.4	66.0
		主体的に学習に取り組む態度	0		
問題形式		選択式	10	▼69.5	69.9
		短答式	2	▼58.5	59.7
		記述式	2	▼63.1	64.6

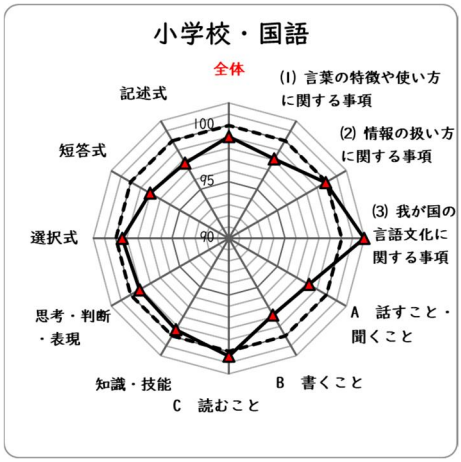
イ　正答数の分布

	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
千葉県（公立）	46,939	9.4 / 14	67	10.0	3.1
全国（公立）	947,364	9.5 / 14	67.7	10.0	3.1



横軸：正答数
縦軸：児童の割合

ウ　指数



小学校・国語		
	全体	99.0
内容・領域	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	98.1
	(2) 情報の扱い方に関する事項	99.9
	(3) 我が国の言語文化に関する事項	102.0
	A　話すこと・聞くこと	98.2
	B　書くこと	97.8
	C　読むこと	100.4
観点	知識・技能	99.3
	思考・判断・表現	99.1
	主体的に学習に取り組む態度	
問題形式	選択式	99.4
	短答式	98.0
	記述式	97.7

※右の表は、全国を 100 としたときの指数で表している。

エ　各設問の結果

※　　：課題となる設問

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領の内容						評価の観点			問題形式			正答率(%)			無解答率(%)		
		知識及び技能			思考力、判断力、表現力等														
		(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	(2) 情報の扱い方に関する事項	(3) 我が国の言語文化に関する事項	A 話すこと・聞くこと	B 書くこと	C 読むこと	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	千葉県（公立）	全国（公立）	全国との差	千葉県（公立）	全国（公立）	全国との差
1一	目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討することができるかどうかをみる				5・6ア				○		○			62.3	62.5	-0.2	0.8	0.7	0.1
1二（1）	話し言葉と書き言葉との違いに気付くことができるかどうかをみる	5・6イ						○			○			75.5	75.9	-0.4	0.7	0.6	0.1
1二（2）	資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる				5・6ウ				○		○			50.8	52.9	-2.1	0.8	0.7	0.1
1三	目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができるかどうかをみる				5・6ア				○		○			63.1	63.8	-0.7	1.1	0.9	0.2
2一（1）	目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすることができるかどうかをみる					5・6ア			○		○			79.4	80.3	-0.9	1.0	0.9	0.1
2一（2）	情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるかどうかをみる		5・6イ					○			○			86.8	86.9	-0.1	1.0	0.9	0.1
2二	目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる					5・6ウ			○				○	54.4	56.6	-2.2	5.7	4.9	0.8
2三ア	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる	5・6エ						○				○		42.1	43.4	-1.3	15.2	13.2	2.0
2三イ		5・6エ						○				○		75.0	76.0	-1.0	9.3	8.0	1.3
3一	文の中における主語と述語との関係を捉えることができるかどうかをみる	3・4カ						○			○			60.3	62.3	-2.0	2.0	2.0	0.0
3二（1）	登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることができるかどうかをみる						5・6イ		○		○			67.8	66.9	0.9	2.6	2.6	0.0
3二（2）	人物像を具体的に想像することができるかどうかをみる						5・6エ		○		○			73.3	72.5	0.8	2.8	2.9	-0.1
3三	人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができるかどうかをみる						5・6エ		○				○	71.8	72.6	-0.8	12.7	12.6	0.1
3四	日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付くことができるかどうかをみる			5・6オ				○			○			76.1	74.6	1.5	6.8	7.6	-0.8

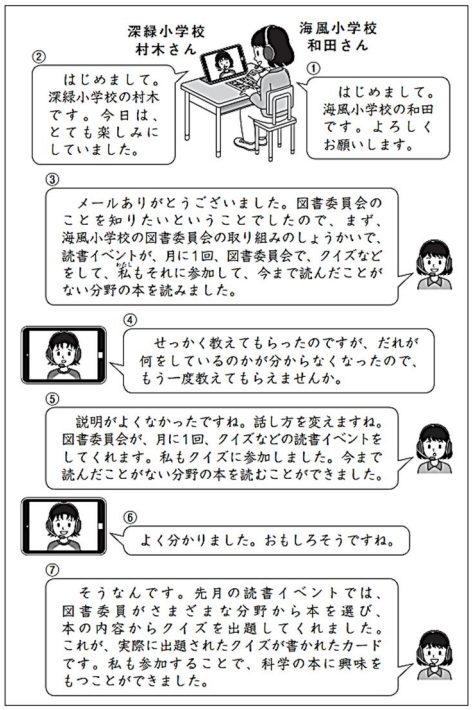
オ　課題のある設問

１ニ⑵（趣旨）資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる。

（学習指導要領）
〔第５学年および第６学年〕思考力、判断力、表現力等　A 話すこと・聞くこと ウ

二　和田さんは、【和田さんのメモ】を生かして、村木さんとオンラインで交流しました。次の【オンライン交流の様子の一部】をよく読んで、あとの(1)と(2)の問いに答えましょう。

【オンライン交流の様子の一部】



⑵　和田さんは、村木さんの発言⑥を受けて、発言⑦のように話しました。和田さんの話し方のくふうとして最も適切なものを、次の**１**から**４**までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

１　相手が興味をもっていることに気づき、相手の言葉を引用して話した。

２　相手が興味をもっていることに気づき、用意していた実物を示しながら話した。

３　相手が興味をもっていないことに気づき、言葉の意味を説明しながら話した。

４　相手が興味をもっていないことに気づき、自分の体験を加えて話した。

正答　２

全国と千葉県との比較

正答率（%）		無解答率（%）	
全　国	52.9	全　国	0.7
千葉県	50.8	千葉県	0.8
自　校		自　校	

解答類型別反応率（誤答のうち反応率が高いもの）

解　答　類　型		反応率（%）
１	１と解答しているもの 和田さんが、相手が興味をもっていることに気付いたことを捉えることはできていたが、用意していた実物を示しながら話したことを捉えることができなかったと考えられる。	全　国　27.7 千葉県　29.5 自　校（　　）
４	４と解答しているもの 和田さんが、自分の体験を加えて話していることを捉えることはできていたが、相手が興味をもっていることに気付いたことを捉えることができなかったと考えられる。	全　国　15.4 千葉県　15.5 自　校（　　）

資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫するには

・音声言語だけでは聞き手が理解しにくかったり、誤解を招きそうだったりする場合などに資料を使いながら話すことや、聞き手の興味・関心や情報量などを予想し、どのような資料を用意すればよいかを考える場面を設定することが大切である。
・実際に交流する場面では、話し手は、聞き手のうなずきや表情などの反応にも目を向け、適切な時間や機会を判断し表現することのよさに気付かせていくことが大切である。

２二　（趣旨）目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる。

（学習指導要領）
〔第５学年及び第６学年〕思考力、判断力、表現力等　B　書くこと　ウ

二　高山さんは、次の【高山さんの文章】の［　　］に、【高山さんの取材メモ】をもとにして考えた「たてわり遊び」のよさを書こうとしています。あなたが高山さんなら、［　　］に入る内容をどのように書きますか。あとの条件に合わせて書きましょう。

【高山さんの文章】

みんな仲良し「たてわりはん」

わたしたちの学校には、１年生から６年生までのメンバーが、同じはんで活動する「たてわりはん」の取り組みがあります。「運動会」や「たてわり遊び」を通して、ちがう学年の人とも仲良くなります。

「運動会」は、「たてわりはん」ごとに赤、青、黄の色を決め、３色対こうで行います。上級生が下級生に応えんの仕方を教えたり、下級生も楽しめるように、ア（きょうぎ）の作戦を考えたりします。「みんなでつな引きをして楽しい」という２年生や、「下級生といっしょに応えんして熱い気持ちになる」という５年生がいます。このように、「運動会」のよいところは、みんなの心が一つになるところだと思います。

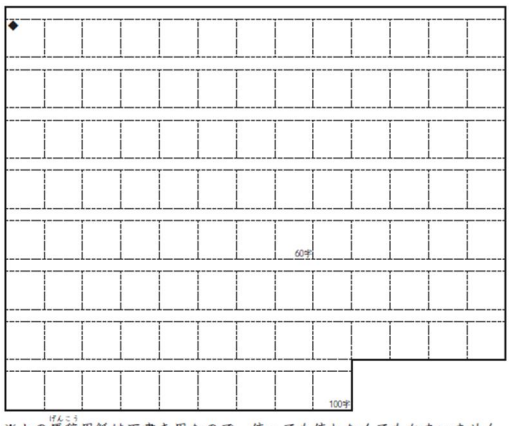
「たてわり遊び」は、毎月１回、休み時間に「たてわりはん」で遊ぶ活動です。みんなが楽しめるように、６年生が、遊びたいことを下級生に聞いたり、ルールをくふうしたりします。例えば、ドッジボールでは、上級生が遠くからボールをイ（なげる）ようにしています。

［　　］

【高山さんの取材メモ】

「たてわり遊び」について
６年生がくふうしていること
○遊びたいことを下級生に聞く
○ルールをくふうする
　ドッジボール　上級生は遠くからボールをなげる
下級生に聞いたこと
○１年生　お兄さんやお姉さんと遊べて楽しかった
○３年生　好きな遊びや新しい友達が増えた
○４年生　みんなが楽しそうでうれしかった

〈条件〉
○「たてわり遊び」のよさについて考えたことを書くこと。
○【高山さんの取材メモ】の下級生に聞いたことから言葉や文を取り上げて書くこと。
○六十字以上、百字以内にまとめて書くこと。



※上の原稿用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。
※◆の印から書きましょう。とちゅうで行を変えないで、続けて書きましょう。

全国と千葉県との比較

正答率（%）		無解答率（%）	
全　国	56.6	全　国	4.9
千葉県	54.4	千葉県	5.7
自　校		自　校	

解答類型別反応率（誤答のうち反応率が高いもの）

＜正答の条件＞次の条件を満たして解答している。
① 「たてわり遊び」のよさについて考えたことを書いている。
② 【高山さんの取材メモ】の下級生に聞いたことから言葉や文を取り上げて書いている。
③ 60 字以上、100 字以内で書いている。

解　答　類　型		反応率（%）
4	条件②は満たしているが、条件①は満たしていないもの （条件③を満たしているかどうかは不問とする。）	全　国　33.0 千葉県　34.1 自　校（　　）

事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫するには

・文章を書く目的や意図に応じて伝えたいことを明確にし、客観的な事実を取り上げることで考えをより深めていくことができるようにすることが大切である。
・文章全体に一貫性があるかを確かめたり、文末表現に注目して、事実と考えを適切に区別しているか、事実と考えを混同して書いていないかを確かめたりする場面を設定することも大切である。

②中学校国語

ア　平均正答率

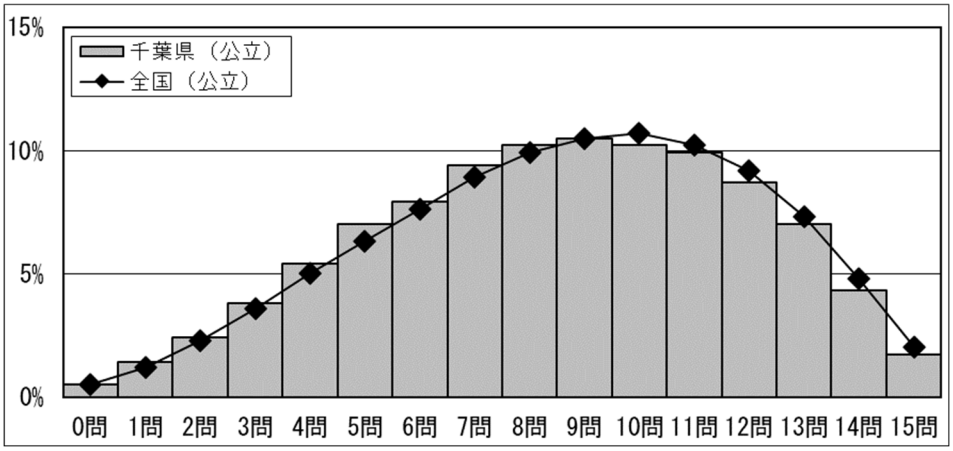
▼：全国の平均正答率を下回るもの

対象学校数	千葉県（公立）	全国（公立）	対象生徒数	千葉県（公立）	全国（公立）
	370	9,268		44,065	875,574

分類		区分	対象問題数（問）	平均正答率(%) 千葉県（公立）	平均正答率(%) 全国（公立）
全体			15	▼57	58.1
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	3	▼57.1	59.2
		(2) 情報の扱い方に関する事項	2	▼58.5	59.6
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	1	▼72.8	75.6
	思考力、判断力、表現力等	A　話すこと・聞くこと	3	▼58.7	58.8
		B　書くこと	2	▼63.4	65.3
		C　読むこと	4	▼47.3	47.9
評価の観点		知識・技能	6	▼60.2	62.0
		思考・判断・表現	9	▼54.7	55.4
		主体的に学習に取り組む態度	0		
問題形式		選択式	9	▼59.8	61.0
		短答式	3	▼60.9	61.8
		記述式	3	▼44.2	45.5

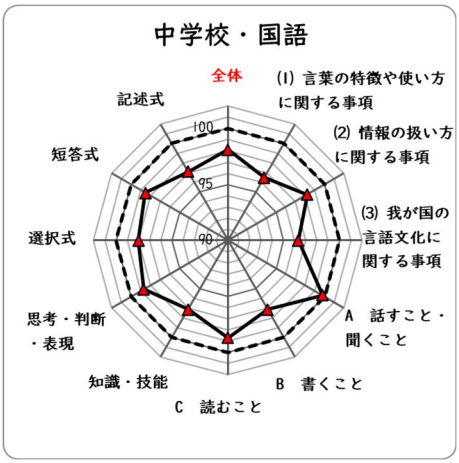
イ　正答数の分布

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
千葉県（公立）	44,065	8.5 / 15	57	9.0	3.4
全国（公立）	875,574	8.7 / 15	58.1	9.0	3.4



横軸：正答数
縦軸：生徒の割合

ウ　指数



中学校・国語		
	全体	98.1
内容・領域	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	96.5
	(2) 情報の扱い方に関する事項	98.2
	(3) 我が国の言語文化に関する事項	96.3
	A　話すこと・聞くこと	99.8
	B　書くこと	97.1
	C　読むこと	98.7
観点	知識・技能	97.1
	思考・判断・表現	98.7
	主体的に学習に取り組む態度	
問題形式	選択式	98.0
	短答式	98.5
	記述式	97.1

※右の表は、全国を 100 としたときの指数で表している。

エ　各設問の結果

※　　：課題となる設問

問題番号	問題の概要	学習指導要領の内容						評価の観点			問題形式			正答率(%)			無解答率(%)		
		知識及び技能			思考力、判断力、表現力等														
		(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	(2) 情報の扱い方に関する事項	(3) 我が国の言語文化に関する事項	A 話すこと・聞くこと	B 書くこと	C 読むこと	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	千葉県（公立）	全国（公立）	全国との差	千葉県（公立）	全国（公立）	全国との差
1一	話合いの中の発言について説明したものとして適切なものを選択する				1 エ				○		○			63.4	63.2	0.2	0.8	0.4	0.4
1二	話合いの中で発言する際に指し示している資料の部分として適切な部分を○で囲む				2 ウ				○			○		68.6	68.5	0.1	3.9	3.5	0.4
1三	話合いの中の発言について説明したものとして適切なものを選択する		1 ア					○			○			42.8	44.0	-1.2	0.8	0.5	0.3
1四	話合いの話題や発言を踏まえ、「これからどのように本を選びたいか」について自分の考えを書く				1 オ				○				○	44.0	44.7	-0.7	11.2	9.9	1.3
2一	本文中の図の役割を説明したものとして適切なものを選択する						2 ウ		○		○			35.7	36.3	-0.6	0.9	0.5	0.4
2二	本文中の情報と情報との関係を説明したものとして適切なものを選択する		2 ア					○			○			74.3	75.2	-0.9	0.9	0.6	0.3
2三	本文中に示されている二つの例の役割をまとめた文の空欄に入る言葉として適切なものをそれぞれ選択する						2 ア		○		○			64.8	64.5	0.3	0.9	0.6	0.3
2四	本文に書かれていることを理解するために、着目する内容を決めて要約する						1 ウ		○				○	41.6	42.6	-1.0	8.8	8.4	0.4
3一	物語を書くために集めた材料を取捨選択した意図を説明したものとして適切なものを選択する					1 ア			○		○			79.9	81.4	-1.5	0.9	0.7	0.2
3二	物語の下書きについて、文の中の語句の位置を直した意図を説明したものとして適切なものを選択する	2 オ						○			○			53.5	53.8	-0.3	1.3	1.0	0.3
3三	漢字を書く（みちたりた）	2 ウ						○				○		66.9	68.8	-1.9	12.2	10.2	2.0
3四	表現を工夫して物語の最後の場面を書き、工夫した表現の効果を説明する					2 ウ			○				○	47.0	49.3	-2.3	15.5	15.0	0.5
4一	短歌に用いられている表現の技法を説明したものとして適切なものを選択する	1 オ						○			○			50.8	54.9	-4.1	2.2	1.8	0.4
4二	短歌に詠まれている情景の時間帯の違いを捉え、時間の流れに沿って短歌の順番を並べ替える						1 イ		○			○		47.0	48.3	-1.3	3.6	3.4	0.2
4三	行書の特徴を踏まえた書き方について説明したものとして適切なものを選択する			1 エ (イ)				○			○			72.8	75.6	-2.8	2.8	2.3	0.5

オ　課題のある設問

１四　（趣旨）話合いの話題や展開を捉えながら、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。

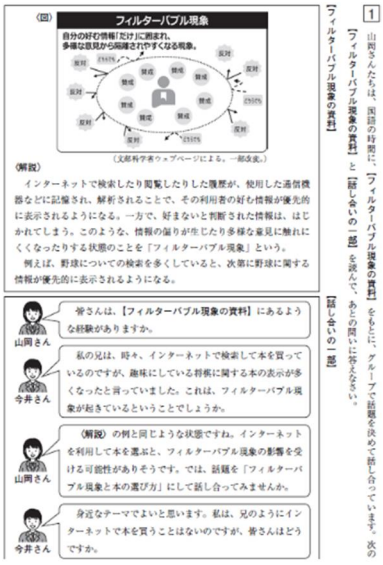
（学習指導要領）〔第１学年〕　思考力、判断力、表現力等　A 話すこと・書くこと オ

全国と千葉県との比較

正答率（%）	
全　国	44.7
千葉県	44.0
自　校	
無解答率（%）	
全　国	9.9
千葉県	11.2
自　校	

（正答例）
山岡さんの発言にあった、様々な人がおすすめの本を紹介しているウェブページを利用してみたいと思います。自分とは異なる価値観に意識して触れ、多様な意見に触れにくい状態に陥らないようにすることが大切だと思いました。

四　【話し合いの一部】の山岡さんの最後の発言を受けて、あなたならどのような考えを述べますか。次の条件１と条件２にしたがって、実際に話すように書きなさい。なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。
条件１　フィルターバブル現象の特徴について取り上げながら、これからどのように本を選びたいかを具体的に書くこと。
条件２　【話し合いの一部】の誰の発言と結び付くのかが分かるように書くこと。



1　山岡さんたちは、国語の授業で、【フィルターバブル現象の資料】と【話し合いの一部】を読んで、あとの問いに答えなさい。
【フィルターバブル現象の資料】
【話し合いの一部】

解答類型別反応率（誤答のうち反応率が高いもの）

＜正答の条件＞次の条件を満たして解答している。
①フィルターバブル現象の特徴について取り上げながら、これからどのように本を選びたいかを具体的に書いている。
②【話し合いの一部】の誰の発言と結び付くのかが分かるように書いている。
③実際に話すように書いている。

	解　答　類　型	反応率（%）
3	条件①、③を満たし、条件②を満たさないで解答しているもの (例) フィルターバブル現象の特徴は、自分の好む情報だけに囲まれて多様な意見に触れにくくなることなので、そうならないように図書館などで本を選びたいと思います。 自分の考えが、【話し合いの一部】の誰の発言と結び付くのかが分かるように書くことができていない。	全　国　15.2 千葉県　14.1 自　校（　）
4	条件②、③を満たし、条件①を満たさないで解答しているもの (例)山岡さんが話してくれた、様々な人がおすすめの本を紹介しているウェブページを利用して本を選んでみたいと思いました。 フィルターバブル現象の特徴を取り上げて書くことや、これからどのように本を選びたいかを具体的に書くことができていない。	全　国　16.8 千葉県　17.1 自　校（　）

話題や展開を捉えながら話し合い、発言を結び付けて自分の考えをまとめるには

話し合いにおけるいずれの段階においても、話題を意識しながらその経過を捉えて話したり聞いたりすることができるように指導することが大切である。また、話し合いの展開に応じて、互いの発言を結び付け、話し合った内容を踏まえて自分の考えをまとめられるように指導することも大切である。

２一　（趣旨）文章と図とを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈することができるかどうかをみる。

（学習指導要領）〔第２学年〕　思考力、判断力、表現力等　Ｃ　読むこと　ウ

園池公毅
『植物の形には意味がある』

一　「図　さまざまな形の葉」の本文中での役割を説明したものとして適切なものを、次の１から４までの中から二つ選びなさい。

１　実際の葉の形をたくさん思い浮かべることができるように補助する役割。

２　実際の葉の形とそれを表す言葉とを結び付けて捉えられるようにする役割。

３　葉の形を表す言葉を二つのグループに分けるやり方が複数あることを示す役割。

４　葉の形を表す言葉の中では厚み方向の形容が限定的であることの根拠を示す役割。

正答　１、２

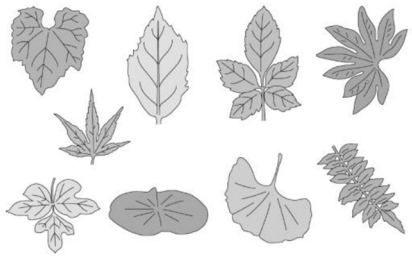


図　さまざまな形の葉

全国と千葉県との比較

正答率（%）	
全　国	36.3
千葉県	35.7
自　校	

解答類型別反応率（誤答のうち反応率が高いもの）

解　答　類　型		反応率（%）
2	１と解答し、２と解答していないもの 「図　さまざまな形の葉」と第一段落とを結び付けて読むことで、読み手が実際の葉の形をたくさん思い浮かべることができるよう、補助する役割をもつことを捉えることはできているが、第二段落で筆者が例示している「さまざまな形容」と結び付けて読むことで、実際にどのような形なのかを、読み手が具体的に捉えることができるようにする役割をもつことを捉えることができていない。	全　国　28.1 千葉県　28.8 自　校（　）
3	２と解答し、１と解答していないもの 「図さまざまな形の葉」と第二段落で筆者が例示している「さまざまな形容」とを結び付けて読むことで、実際にどのような形なのかを、読み手が具体的に捉えることができるようにする役割をもつことを捉えることはできているが、第一段落と結び付けて読むことで、読み手が実際の葉の形をたくさん思い浮かべることができるよう、補助する役割をもつことを捉えることができていない。	全　国　25.6 千葉県　25.2 自　校（　）

文章と図表などを結び付けて内容の理解に生かすには

パンフレットや雑誌の記事、ウェブサイトに示されている文章など、実生活の中にあるものを教材として取り上げ、文脈を踏まえた上で図表などがもつ役割について考える学習活動が考えられる。その際、図表などが文章中にある場合とない場合とを比較し、図表などが示されていることによって何がどのように分かりやすくなるのかを説明し合うことで、筆者が図表などを用いた意図を考えるように指導することが有効である。

③小学校算数

ア　平均正答率

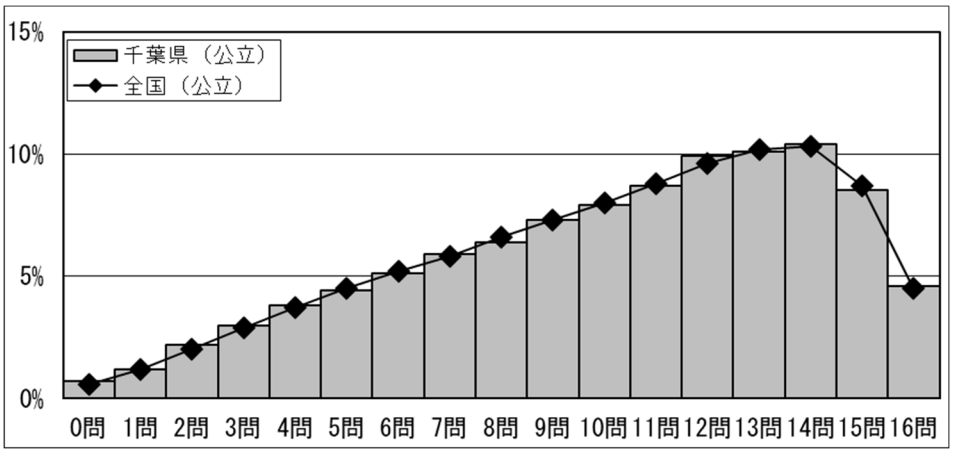
▼：全国の平均正答率を下回るもの

対象学校数	千葉県（公立）	全国（公立）	対象児童数	千葉県（公立）	全国（公立）
	754	18,466		46,953	947,579

分類	区分	対象問題数（問）	平均正答率(%)	
			千葉県（公立）	全国（公立）
全体		16	▼63	63.4
学習指導要領の領域	A　数と計算	6	▼65.9	66.0
	B　図形	4	▼65.5	66.3
	C　測定	0		
	C　変化と関係	3	52.1	51.7
	D　データの活用	4	61.8	61.8
評価の観点	知識・技能	9	72.9	72.8
	思考・判断・表現	7	▼50.8	51.4
	主体的に学習に取り組む態度	0		
問題形式	選択式	5	75.3	75.3
	短答式	7	62.1	62.0
	記述式	4	▼50.0	51.0

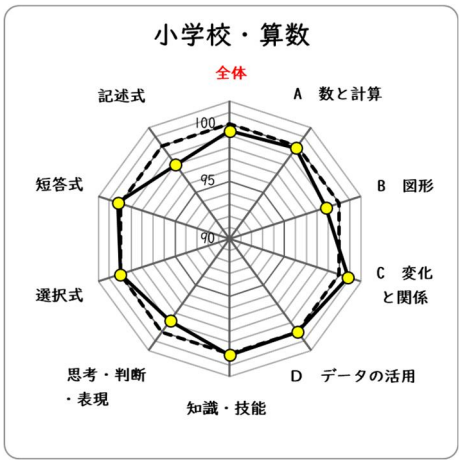
イ　正答数の分布

	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
千葉県（公立）	46,953	10.1 / 16	63	11.0	3.9
全国（公立）	947,579	10.1 / 16	63.4	11.0	3.9



横軸：正答数
縦軸：児童の割合

ウ　指数



※右の表は、全国を 100 としたときの指数で表している。

小学校・算数		
	全体	99.4
内容・領域	A　数と計算	99.8
	B　図形	98.8
	C　測定	
	C　変化と関係	100.8
	D　データの活用	100.0
観点	知識・技能	100.1
	思考・判断・表現	98.8
	主体的に学習に取り組む態度	
問題形式	選択式	100.0
	短答式	100.2
	記述式	98.0

エ　各設問の結果

※　　：課題となる設問

問題番号	問題の概要	学習指導要領の領域					評価の観点			問題形式			正答率(%)			無解答率(%)		
		A 数と計算	B 図形	C 測定	C 変化と関係	D データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	千葉県（公立）	全国（公立）	全国との差	千葉県（公立）	全国（公立）	全国との差
1（1）	問題場面の数量の関係を捉え、持っている折り紙の枚数を求める式を選ぶ	2(2)ア(エ)					○			○			63.4	62.1	1.3	0.2	0.2	0.0
1（2）	はじめに持っていた折り紙の枚数を□枚としたときの、問題場面を表す式を選ぶ	3(7)ア(ア)					○			○			88.7	88.5	0.2	0.3	0.3	0.0
2（1）	３５０×２＝７００であることを基に、３５０×１６の積の求め方と答えを書く	3(3)イ(ア)						○				○	54.2	56.9	-2.7	3.9	3.4	0.5
2（2）	除数が１／１０になったときの商の大きさについて、正しいものを選ぶ	5(3)ア(ア)					○			○			69.1	69.1	0.0	1.4	1.3	0.1
3（1）	作成途中の直方体の見取図について、辺として正しいものを選ぶ		4(2)ア(ア)ア(ウ)				○			○			84.7	85.5	-0.8	0.7	0.6	0.1
3（2）	円柱の展開図について、側面の長方形の横の長さが適切なものを選ぶ		5(1)ア(エ)				○			○			70.7	71.3	-0.6	1.0	0.8	0.2
3（3）	直径２２ｃｍのボールがぴったり入る箱の体積を求める式を書く		3(1)ア(ウ)イ(ア)5(4)ア(イ)イ(ア)					○			○		36.1	36.5	-0.4	11.3	9.8	1.5
3（4）	五角柱の面の数を書き、そのわけを底面と側面に着目して書く		5(2)ア(ア)イ(ア)					○				○	70.4	72.0	-1.6	2.0	1.8	0.2
4（1）	５４０÷０．６を計算する	5(3)ア(イ)					○				○		70.3	70.1	0.2	3.6	3.1	0.5
4（2）	３分間で１８０m歩くことを基に、１８００mを歩くのにかかる時間を書く				5(1)イ(ア)5(2)イ(ア)			○			○		69.9	70.0	-0.1	3.8	3.3	0.5
4（3）	家から学校までの道のりが等しく、かかった時間が異なる二人の速さについて、どちらが速いかを判断し、そのわけを書く				5(2)ア(ア)イ(ア)			○				○	31.0	31.0	0.0	2.5	2.4	0.1
4（4）	家から図書館までの自転車の速さが分速何mかを書く				5(2)ア(ア)		○				○		55.6	54.1	1.5	5.2	4.6	0.6
5（1）	円グラフから、２０２３年の桜の開花日について、４月の割合を読み取って書く					5(1)ア(ア)	○				○		79.8	80.8	-1.0	1.8	1.8	0.0
5（2）	示されたデータから、１９６０年代のＣ市について、開花日が３月だった年と４月だった年がそれぞれ何回あったかを読み取り、表に入る数を書く					3(1)ア(ア)	○				○		73.4	73.3	0.1	4.0	3.9	0.1
5（3）	折れ線グラフから、開花日の月について、３月の回数と４月の回数の違いが最も大きい年代を読み取り、その年代について３月の回数と４月の回数の違いを書く					3(1)イ(ア)4(1)ア(イ)		○				○	44.4	44.0	0.4	13.6	12.6	1.0
5（4）	示された桜の開花予想日の求め方を基に、開花予想日を求める式を選び、開花予想日を書く	2(1)イ(ア)				3(1)ア(ア)		○			○		49.6	49.3	0.3	3.7	4.0	-0.3

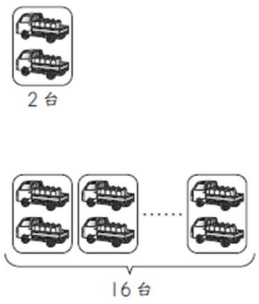
オ　課題のある設問

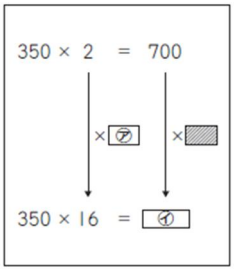
2⑴　（趣旨）計算に関して成り立つ性質を活用して、計算の仕方を考察し、求め方と答えを式や言葉を用いて記述できるかどうかをみる。

（学習指導要領）〔第３学年〕Ａ 数と計算 ⑶ イ(ア)

350×2=700　であることをもとに、350×16の積の求め方についてまとめました。
このとき、350×16のかける数「16」が、350×2のかける数「2」の何倍になっているかに着目しました。

㋐に着目すると、350×16の積㋑は、どのように求めることができますか。
㋐に入る数に着目したときの㋑の求め方を、式や言葉を使って書きましょう。そのとき、㋐に入る数をどのように求めたのかがわかるようにしましょう。
また、㋑に入る数も書きましょう。





（正答例）
【求め方】16÷2＝8で、かける数の16は、
かける数の2の8倍です。
350×16の積は、350×2の積の8倍
だから、700×8＝5600です。
【㋑】5600

全国と千葉県との比較

正答率（%）		無解答率（%）	
全　国	56.9	全　国	3.4
千葉県	54.2	千葉県	3.9
自　校		自　校	

解答類型別反応率（誤答のうち反応率が高いもの）

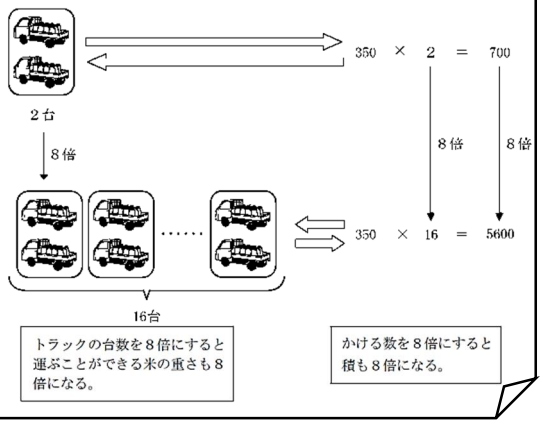
＜正答の条件＞次の①、②の全てを書き、㋑を5600と書いている。
①16が2の8倍であることを表している式や言葉
②700の8倍になることを用いて、350×16の積㋑を求める式や言葉

解　答　類　型		反応率（%）
2	【求め方】①を書いているが、②を書いていないもの　【㋑】5600 350×16の積が350×2＝700の8倍になることを用いて、350×16の積㋑を求める式や言葉は記述できていない。	全　国　9.5 千葉県　9.5 自　校（　　）
4	【求め方】350×16を書いているもの　【㋑】5600 350×16の乗数「16」が、350×2の乗数「2」の8倍であることに着目することができず、350×16の計算をしている。	全　国　3.8 千葉県　3.5 自　校（　　）

計算に関して成り立つ性質を活用して、計算を工夫できるようにするには

本設問を用いた指導の工夫

トラック２台で運ぶことができる米の重さが700kgであることを基に、トラック16台で運ぶことができる米の重さの求め方を考え、説明する活動が考えられる。その際、右の図のように、かける数を８倍にすると積も８倍になるという計算に関して成り立つ性質を活用していることを、図や式を用いて場面と関連付けて理解できるようにすることが大切である。さらに、答えの求め方について、筋道を立てて説明できるようにすることも大切である。



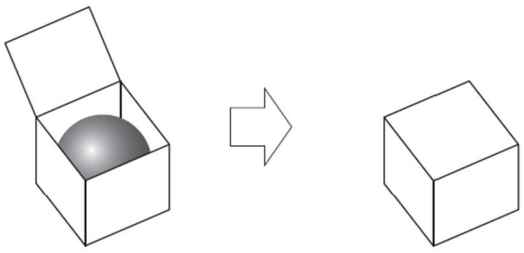
3⑶　（趣旨）球の直径の長さと立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すことができるかどうかをみる。

（学習指導要領）〔第３学年〕Ｂ 図形 (1) ア(ウ) イ(ア)〔第５学年〕Ｂ 図形⑷ア(イ) イ(ア)

⑶　直径 22 cm の球の形をしたボールがあります。



このボールがぴったり入る立方体の形をした紙の箱の体積を調べます。



この立方体の形をした紙の箱の体積が何 cm^3 かを求める式を書きましょう。ただし、紙の厚さは考えないものとします。また、計算の答えを書く必要はありません。

正答　22×22×22

全国と千葉県との比較

正答率（%）		無解答率（%）	
全　国	36.5	全　国	9.8
千葉県	36.1	千葉県	11.3
自　校		自　校	

解答類型別反応率（誤答のうち反応率が高いもの）

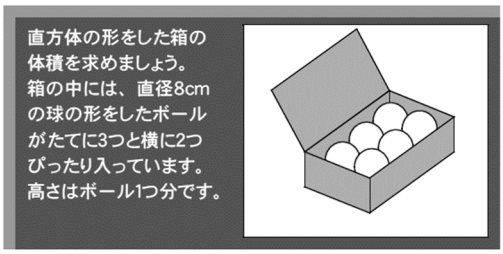
	解　答　類　型	反応率（%）
3	22×22 と解答しているもの 球の直径の長さと立方体の一辺の長さの関係を捉えることはできているが、立方体の一つの面の面積の求め方を式に表している。	全　国 8.5 千葉県 8.4 自　校(　　)
7	3.14 を用いた式を解答しているもの 球の直径の長さと円周率から体積を求めることができると誤って捉えている。	全　国 16.0 千葉県 15.7 自　校(　　)

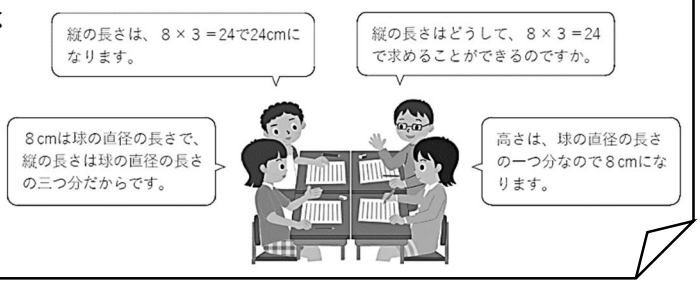
図形を構成する要素を見いだし、それらを活用して体積を求めることができるようにするには

本設問を用いた指導の工夫

球の形をしたボールがぴったり入る立方体の形をした紙の箱の体積を調べる活動が考えられる。その際、立方体を真上や真横から観察するなどして、球はどこから見ても同じ円であることや、その円の直径の長さは球の直径の長さと等しく、立方体の一辺の長さと等しいことを理解できるようにすることが大切である。

また、立方体の体積は、一辺の長さを測ることによって、
（一辺）×（一辺）×（一辺）
の式で求められることを理解できるようにすることも大切である。





④中学校数学

ア　平均正答率

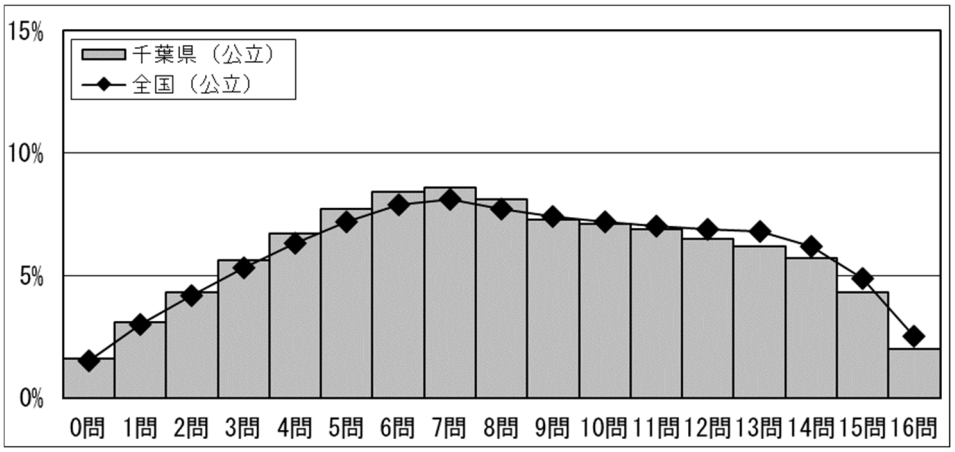
▼：全国の平均正答率を下回るもの

対象学校数	千葉県（公立）	全国（公立）	対象生徒数	千葉県（公立）	全国（公立）
	370	9,265		44,056	875,952

分類	区分	対象問題数（問）	平均正答率(%) 千葉県（公立）	平均正答率(%) 全国（公立）
全体		16	▼51	52.5
学習指導要領の領域	A　数と式	5	▼49.1	51.1
	B　図形	3	▼39.2	40.3
	C　関数	4	▼60.1	60.7
	D　データの活用	4	▼53.2	55.5
評価の観点	知識・技能	11	▼61.7	63.1
	思考・判断・表現	5	▼27.6	29.3
	主体的に学習に取り組む態度	0		
問題形式	選択式	5	▼56.7	58.5
	短答式	6	▼65.8	67.0
	記述式	5	▼27.6	29.3

イ　正答数の分布

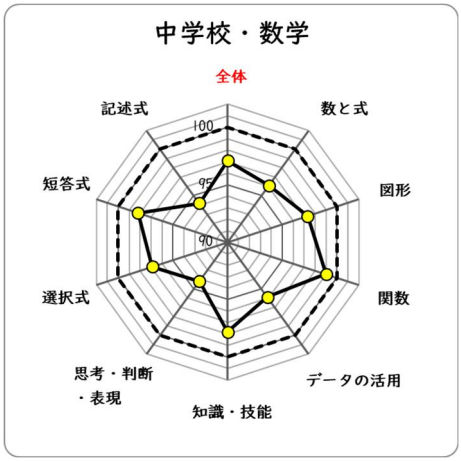
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
千葉県（公立）	44,056	8.2 / 16	51	8.0	4.1
全国（公立）	875,952	8.4 / 16	52.5	8.0	4.1



横軸：正答数
縦軸：生徒の割合

ウ　指数

※右の表は、全国を 100 としたときの指数で表している。



中学校・数学		
	全体	97.1
内容・領域	数と式	96.1
	図形	97.3
	関数	99.0
	データの活用	95.9
観点	知識・技能	97.8
	思考・判断・表現	94.2
	主体的に学習に取り組む態度	
問題形式	選択式	96.9
	短答式	98.2
	記述式	94.2

エ　各設問の結果

※　　：課題となる設問

問題番号	問題の概要	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			正答率(%)			無解答率(%)		
		A 数と式	B 図形	C 関数	D データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	千葉県（公立）	全国（公立）	全国との差	千葉県（公立）	全国（公立）	全国との差
1	nを整数とするとき、連続する二つの偶数を、それぞれnを用いた式で表す	2(1)ア(イ)				○				○		32.6	34.8	-2.2	17.6	14.3	3.3
2	等式６ｘ＋２ｙ＝１をｙについて解く	2(1)ア(エ)				○				○		49.4	52.5	-3.1	11.2	9.7	1.5
3	正方形が回転移動したとき、回転前の正方形の頂点に対応する頂点を、回転後の正方形から選ぶ		1(1)ア(イ)			○			○			67.4	68.3	-0.9	0.5	0.3	0.2
4	一次関数ｙ＝ａｘ＋ｂについて、ａ＝１、ｂ＝１のときのグラフに対して、ｂの値を変えずに、ａの値を大きくしたときのグラフを選ぶ			2(1)ア(ア)		○			○			63.7	65.3	-1.6	0.8	0.7	0.1
5	２枚の１０円硬貨を同時に投げるとき、２枚とも裏が出る確率を求める				2(2)ア(イ)	○				○		72.3	73.1	-0.8	4.2	4.2	0.0
6（1）	正三角形の各頂点に○を、各辺に□をかいた図において、○に3、－５を入れるとき、その和である□に入る整数を求める	1(1)ア(イ)				○				○		90.0	90.2	-0.2	2.4	2.5	-0.1
6（2）	正三角形の各頂点に○を、各辺に□をかいた図において、□に入る整数の和が○に入れた整数の和の２倍になることの説明を完成する	2(1)イ(イ)					○				○	33.1	35.9	-2.8	25.5	23.5	2.0
6（3）	正四面体の各頂点に○を、各辺に□をかいた図において、○に入れた整数の和と□に入る整数の和について予想できることを説明する	2(1)イ(イ)					○				○	40.4	41.8	-1.4	31.9	29.6	2.3
7（1）	障害物からの距離が１０ｃｍより小さいことを感知して止まる設定にした車型ロボットについて実験した結果を基に、１０ｃｍの位置から進んだ距離の最頻値を求める				小6(1)ア(ア)	○				○		73.6	74.3	-0.7	6.2	5.8	0.4
7（2）	車型ロボットについて「速さが段階１から段階５まで、だんだん速くなるにつれて、１０ｃｍの位置から進んだ距離が長くなる傾向にある」と主張することができる理由を、５つの箱ひげ図を比較して説明する				2(1)イ(ア)		○				○	23.5	25.9	-2.4	33.3	29.4	3.9
7（3）	車型ロボットについて、障害物からの距離の設定を変えて調べたデータの分布から、四分位範囲について読み取れることとして正しいものを選ぶ				2(1)ア(ア)	○			○			43.3	48.5	-5.2	1.1	0.9	0.2
8（1）	ストーブの使用時間と灯油の残量の関係を表すグラフとｙ軸との交点Ｐのｙ座標の値が表すものを選ぶ			2(1)ア(ア)		○			○			83.8	83.4	0.4	1.0	0.8	0.2
8（2）	１８Ｌの灯油を使いきるまでの「強」の場合と「弱」の場合のストーブの使用時間の違いがおよそ何時間になるかを求める方法を、式やグラフを用いて説明する			2(1)イ(イ)			○				○	16.0	17.1	-1.1	18.5	16.4	2.1
8（3）	結衣さんがかいたグラフから、１８Ｌの灯油を使い切るような「強」と「弱」のストーブの設定の組み合わせとその使用時間を書く			2(1)ア(ア)		○				○		77.0	76.9	0.1	4.1	3.8	0.3
9（1）	点Ｃを線分ＡＢ上にとり、線分ＡＢについて同じ側に正三角形ＰＡＣとＱＣＢをつくるとき、ＡＱ＝ＰＢであることを、三角形の合同を基にして証明する		2(2)イ(イ)				○				○	25.1	25.8	-0.7	35.7	33.6	2.1
9（2）	点Ｃを線分ＡＢ上にとり、線分ＡＢについて同じ側に正三角形ＰＡＣとＱＣＢをつくるとき、∠ＡＱＣと∠ＢＰＣの大きさについていえることの説明として正しいものを選ぶ		2(2)ア(イ)イ(ア)			○			○			25.2	26.7	-1.5	4.8	4.5	0.3

オ　課題のある設問

2　（趣旨）方程式を解いたり、二元一次方程式を関数関係を表す式とみて考察したりする場面において必要となる、次のことができるかどうかをみる。
・数や式などを活用して、数学的に処理すること
・等式を目的に応じて変形すること

（学習指導要領）〔第２学年〕A　数と式 (1) ア（エ）

2　等式 $6x+2y=1$ を、y について解きなさい。

全国と千葉県との比較

正答率（%）	
全　国	52.5
千葉県	49.4
自　校	
無解答率（%）	
全　国	9.7
千葉県	11.2
自　校	

正答　$-3x+\frac{1}{2}$ 又は $\frac{-6x+1}{2}$ と解答しているもの
（数学的に同値と判断できるものを含む）

解答類型別反応率（誤答のうち反応率が高いもの）

	解　答　類　型	反応率（%）
6	$-3x+1$ と解答しているもの	全　国　5.3 千葉県　5.4 自　校（　）
10	数値を解答しているもの 例えば、$-\frac{5}{2}$ と解答した生徒は、等式を変形して $2y=-6x+1$ とした上で、$-6x+1$ を -5 と計算したと考えられる。	全　国　8.8 千葉県　10.4 自　校（　）
99	解答類型 1～10 以外の解答 例えば、$\frac{1}{12x}$ と解答した生徒は、$6x+2y$ を $12xy$ として計算し、y について解いたと考えられる。	全　国　11.5 千葉県　11.9 自　校（　）

等式の性質などに基づき、等式を変形できるようにするには

本設問を用いた指導の工夫

$6x+2y=1$ を y について解くことは、$y=$ □ の形に変形することであると確認する場面を設定することが考えられる。その上で、左辺の $6x$ を右辺に移項することや y の係数である２で両辺を割ることが、等式の性質を根拠にしていることを確認することが大切である。その際、$y=-3x+1$　（解答類型６）を取り上げ、$2y=-6x+1$ を $y=$ □ の形に変形するときには、$-6x\div2+1\div2$ と計算する必要があることを確認する場面を設定することも考えられる。

なお、$y=-\frac{5}{2}x$ や $y=-\frac{5}{2}$ と解答している生徒に対しては、改めて正しく文字式の計算ができるように指導することが大切である。

8(2)（趣旨）事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる。

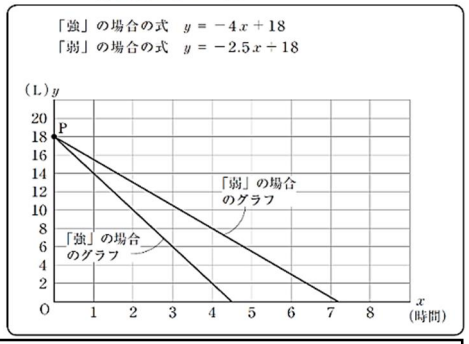
（学習指導要領）〔第２学年〕C　関数 (1) イ（イ）

出題の内容

ストーブの使用時間と灯油の残量から、ストーブを使用し始めてから18Lの灯油を使い切るまでの「強」の場合と「弱」の場合の使用時間の違いがおよそ何時間になるか求める方法をグラフや式を用いて説明する。

ア「強」の場合の式 y=－4x+18 と「弱」の場合の式 y=－2.5x+18
イ「強」の場合のグラフと「弱」の場合のグラフ

ストーブの使用時間と灯油の残量



（正答例）

〈アを選択した場合〉

・「強」の場合の式と「弱」の場合の式について、それぞれの式に y ＝０ を代入し、x の値の差を求める。

〈イを選択した場合〉

・「強」の場合のグラフと「弱」の場合のグラフについて、y の値が０のときの x の値の差を求める。

・「強」の場合のグラフと「弱」の場合のグラフについて、y 座標が０のときの２点間の距離を読み取る。

全国と千葉県との比較

正答率（%）		無解答率（%）	
全　国	17.1	全　国	16.4
千葉県	16.0	千葉県	18.5
自　校		自　校	

解答類型別反応率（誤答のうち反応率が高いもの）

＜正答の条件＞次の①あるいは②のとおり解答をしているもの

①アを選択し、次の(a)、(b)について記述しているもの

(a)「強」の場合の式と「弱」の場合の式に y ＝０ を代入すること。

(b) 上記(a)に対応する x の値の差を求めること。

②イを選択し、次の(c)、(d)又は(c)、(e)について記述しているもの

(c)「強」の場合のグラフと「弱」の場合のグラフの y 座標が０である点に着目すること。

(d)上記(c)に対応する x の値の差を求めること。

(e) 上記(c)に対応する２点間の距離を読み取ること。

	解　答　類　型	反応率（%）
7	アを選択し、式を用いることについて記述しているが、(a)、(b)について記述していないもの (例)それぞれの式から「強」の場合は１時間あたり４L、「弱」の場合は１時間あたり 2.5L灯油が減ることがわかる。	全　国　4.3 千葉県　4.2 自　校（　）
21	イを選択し、グラフを用いることについて記述しているが、(c)、(d)、(e)について記述していないもの (例)グラフを見比べると、「強」では4時間半くらいで灯油がなくなり、「弱」では７時間くらいで灯油がなくなる。よって、「弱」の方が長く使える。	全　国 10.2 千葉県 10.7 自　校（　）

問題解決のために数学を活用する方法を考え、説明できるようにするには

本設問を用いた指導の工夫

ストーブを使用し始めてから 18Lの灯油を使い切るまでの「強」の場合と「弱」の場合の使用時間の違いはおよそ何時間になるかを求める方法について、式やグラフをどのように用いればよいかを説明する場面を設定し、考えることが大切である。

